北九州市立医療センター病院外科専門研修プログラム

院長 中野徹 (外科)
副院長 西原一善(外科)

研修内容は、日本専門医機構による外科領域専門研修プログラムに沿って行います。

<https://www.jssoc.or.jp/procedure/specialist-new/info20170823.html>

1. 北九州市立医療センター外科専門プログラムについて

北九州市立医療センター外科専門プログラムの目的と使命は、

- 1) 専攻医が医師としての必要な基本的診療能力と外科医としての専門的診療能力を習得すること、
 - 2) 診療能力とともに高い倫理性を備えることにより、プロフェッショナルとして相応しい外科専門医となること、
 - 3) 日々進歩するがん治療と救急医療に対応できる基礎を形成すること、
 - 4) 外科専門医の育成を通して国民の健康・福祉ならびに地域医療に貢献することです。
- 当プログラムでは外科領域全般の幅広い研修により、外科専門医取得のための研修を確実に行います。また、サブスペシャリティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、内分泌外科）の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得を積極的にサポートします。当プログラムは症例数の豊富な北九州市と福岡市の地域中核病院を中心に構成され、外科医養成の基礎となる救急疾患や悪性腫瘍の手術やその周術期管理を数多く経験することができます、また米の山病院にて地域医療に貢献します。

2. 研修プログラムの施設群

北九州市立医療センターと連携施設(6 施設)により専門研修施設群を構成します。本専門研修施設群では 81 名の専門研修指導医が専攻医を指導します。

3. 専攻医の受け入れ数について(外科専門研修プログラム整備基準 5.5 参照)

本専門研修施設群の3年間のNCD 登録数は 21474(北九州医療センター4896+福岡日赤4200+健和会大手町病院1350+九州大学病院10875+米の山病院153) 例で、専門研修指導医は81名です。本プログラムへの症例配分は3年間で $525+3\alpha$ 例($175+\alpha$ 例/年)とし、本年度の募集専攻医数は 2名です。

4. 外科専門研修について

- 1) 外科専門医は初期臨床研修修了後、3年の専門研修で育成されます。3年間の専門研

修期間中、基本的には基幹施設（北九州市立医療センター）で2年、連携施設（健和会大手町病院、福岡日赤、九州大学病院、米の山病院、北九州総合病院、産業医科大学病院）で6か月～1年の研修を行います。専門研修の3年間の1年目、2年目、3年目には、それぞれ医師に求められる基本的診療能力・態度（コアコンピテンシー）と外科専門研修プログラム整備基準に基づいた外科専門医に求められる知識・技術の習得目標を設定してトレーニングを行います。その年度の終わりに達成度を評価して、基本から応用へ、さらに専門医としての実力をつけていくように配慮します。具体的な評価方法は後の項目で示します。

外科領域全般からサブスペシャリティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、内分泌外科）またはそれに準じた外科関連領域の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得に連動する。

研修プログラムの修了判定には規定の経験症例数が必要です。（専攻医研修マニュアル 経験目標2-を参照）初期臨床研修期間中に外科専門研修基幹施設ないし連携施設で経験した症例（NCDに登録されていることが必須）は、研修プログラム統括責任者が承認した症例に限定して、手術症例数に加算することができます。（外科専門研修プログラム整備基準2.3.3 参照）

2) 年次毎の専門研修計画

専攻医の研修は、毎年達成目標と達成度を評価しながら進められます。以下に年次毎の研修内容・習得目標の目安を示します。なお、習得すべき専門知識や技能は専攻医研修マニュアルを参照して下さい。

専門研修 1 年目では、基本的診療能力および外科基本的知識と技能の習得を目標とします。専攻医は定期的開催される術前術後カンファレンスや抄読会、ならびに内科、放射線科、病理診断科、臨床検査科と合同で行う消化器・呼吸器・小児外科・心臓血管外科カンファレンスの参加や書籍や論文などの通読、日本外科学会が用意しているビデオライブラリーなどを通して自らも専門知識・技能の習得を図ります。

専門研修2年目では、基本的診療能力の向上に加えて、外科基本的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とし特に外科救急医療への対応能力獲得を目指します。また専攻医はさらに学会・研究会への参加などを通して専門知識・技能の習得を図ります。

専門研修 3 年目では、チーム医療において責任を持って診療にあたり、後進の指導にも参画し、リーダーシップを発揮して、外科の実践的知識・技能の習得により様々な外科疾患へ対応する力量を養うことを目標とします。カリキュラムを習得したと認められる専攻医には、積極的にサブスペシャリティ領域専門医取得に向けた技能研修へ進みます。研修期間は 3 年間としていますが、習得が不十分な場合は習得できるまで期間を延長することになります(未修了)。

専門研修 1 年目

基幹施設（北九州市立医療センター）にて研修を行います。指導医とともに一般外科//消化器/心・血管/呼吸器/小児/乳腺・内分泌外科を経験できるようにします。経験症例 175 例、術者経験75例を目標とします。

専門研修2年目

基本的に連携施設で研修を行います。指導医とともに特に救急医療を中心に/消化器/心・血管/呼吸器/小児いずれの外科救急疾患にも対応できる基本的知識、技能の習得を図ります。前年同様に1年間で経験症例 175 例 (350 例/2 年)、術者経験 75 例 (150 例/2 年) を目標とします。2年目終了の時点で外科

専門医取得に必要な経験症例350 例、術者 120 例を達成できるようにします。

専門研修3年目

基本的に基幹施設で6ヶ月、連携施設で6ヶ月の研修を行います。場合により連携施設で1年間の研修行うことも可能です。専門研修期間中当プログラムでは地域医療への貢献を目的に米の山病院、健和会大手町病院での研修を必須としています。

前年までに専門医取得に必要な症例のなかで内容等に不足があれば、優先的にその内容の領域をローテートして症例経験、術者経験ができるようにします。また、この時点で将来専攻する領域（消化器、心臓血管、呼吸器、小児あるいは乳腺内分泌、救急医療）が決定していれば、可能な限りその領域を選択的に研修することができるようにします。

問い合わせ先

北九州市立医療センター 副院長 西原一善

802-77 北九州市小倉北区馬借 2-1-1

TEL 093-541-1831

西原一善 k_nishihara01@kmmc.jp